

AL プロジェクト ICT 機器貸出しと利用実績

AL プロジェクト*では、学生や大学教員、および現職教員の授業における AL や ICT 活用を促進するために、ICT 機器（iPad や授業支援システム）を貸し出しています。また、貸し出す ICT 機器の授業における導入を支援するために、学生 ICT 支援員の派遣も行っています。利用を希望される場合は、まずは「はじめに」や「利用のルール」をご覧の上、「利用の流れ」にしたがってお申込みください。

*「主体的・協働的な学び」を実践できる教員の養成—アクティブ・ラーニングを導入した新たな学習指導方法の開発—
(平成 28 年度～令和 3 年度)

「はじめに」

■ ICT 機器貸し出しの目的 ICT 機器貸出しの目的

- ・ ICT 機器の貸出し目的：学生や大学教員、および現職教員の授業における AL や ICT 活用を促進するため
- ・ 学生 ICT 支援員の目的：上記の貸出す ICT 機器を活用する授業の支援をするため

■ 貸出し機器

- ・ iPad (Air2 32GB WiFi モデル) 60 台
- ・ タッチペン 50 本
- ・ iPad・iPhone 用 USB メモリー5 個
- ・ 授業支援システム教師用セット（授業支援システム（ロイロノート等）が入ったノート PC、モニタの切替器、HDMI ケーブル、無線 LAN の AP)
- ・ AppleTV
- ・ EZCast
- ・ デジタル 4K ビデオカメラセット（ビデオカメラ、メモリ、充電器、三脚）
- ・ まなボード 50 枚

「利用のルール」

■ 利用のルール（第 3 版 2019 年 12 月）

※最新版は「AL プロジェクト ICT 機器の貸出について(P.122 相談窓口を参照)」をご確認ください。

- ・ **貸出しの対象者**：教職員（非常勤も含む）が管理責任者及び窓口となること
- ・ **貸出しの範囲**：教職員（非常勤も含む）が責任をもって使える範囲（大学の授業のみに限定はしません。教員研修等にも使用可。）
- ・ **利用の期間**：大学の授業期間中は原則 1 コマを貸出し単位とします。それ以上のご相談ください。授業で使用する場合は、1 コマ空けて貸出し対象となるため、授業が終了次第すぐ返却をお願いします。もし、すぐに返せない場合は、申し込み時に理由を添えてその分も貸出し申し込みをお願いします。上記以外については、まずにご相談ください。
- ・ **補償**：水濡れ、落下、電源が入らない等のハード故障に対して、故障端末の引き取りから再度大学に届けてもらうまで電話一本お任せサービスに入っています。(契約期間:2017 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日までの 3 年間、利用回数無制限)故障した際には、[AL プロジェクト相談窓口](#)まで、すぐに連絡をください。盗難や紛失については、管理責任者にて補償をお願いすることになります。

- ・**貸出・返却時間**：原則として、授業日の8:30-17:00です。授業日とは、祝日・休業日を除いた月曜日から金曜日のことを指します。それ以外の場合は、ご相談ください。
- ・**データについて**：iPadや教師機のデータは、可能であれば消去して返却ください。個人情報などのデータは管理者の責任で消去してください。残したいデータは管理者の責任で保存してください。尚、iPadはメンテナンスとして一定の期間ごとに初期化します。
- ・**その他**：利用内容が変更になった場合や、貸し出し物品に不具合があった場合は、授業終了後にご連絡をお願いします。特に不具合があった場合については、できるだけ具体的に不具合の内容をご連絡ください。その他、ALプロジェクトへの協力をお願いする場合があります。（尚、上記のルールは運用に応じて変更になる可能性があります。）

「利用の流れ」

■利用の流れ

1. 予約状況を確認し、1週間前（ただし、ICT支援員を必要とする場合は、2週間前）までに、申し込み用テンプレートに従ってメールでALプロジェクト相談窓口
(alp-j-soudan@m.auecc.aichi-edu.ac.jp)まで依頼してください。
2. 次の授業日※に採否をメールで返信します。
3. 依頼に応じて貸出の流れに従って貸し出しを行います
4. 利用内容が変更になった場合や、貸し出し物品に不具合があった場合は、授業終了後にご連絡をお願いします。特に不具合があった場合については、できるだけ具体的に不具合の内容をご連絡ください。

※授業日とは、祝日・休業日を除いた月曜日から金曜日のことを指します。使用日が休日の場合は、ご相談ください。

※ICT導入支援員については、返事に時間を要する場合があります。

■申込み用テンプレート

(1) 授業日（毎週の場合もお手数ですが日付を書いてください）：

(2) 授業時間：

(3) 授業名：

(4) 授業者（ご所属・お名前）：

(5) 授業場所：

(6) 受講者数：

(7) 借りたいもの（希望するものを残し、台数などご記入ください）：

・iPad（ ）台、

・タッチペン（ ）本、

・iPad・iPhone用USBメモリー（ ）個、

・授業支援システム教師用セット（ロイロノート・xSyncが入ったノートPC (Surface) ・Surface用HDMI変換アダプター・HDMIケーブル・モニタの切替器）、

- ・無線 LAN のアクセスポイント・LAN ケーブル,
- ・AppleTV・HDMI ケーブル,
- ・EZCast,
- ・デジタル 4K ビデオカメラ,
- ・まなボード () 枚

(8) ICT 導入支援員の希望の有無 (支援員希望の場合は、2 週間前までにお願いします。) :

(9) ICT の使い方 (使い方に当てはまるものを残してお返してください。複数回答可)

- ・xSync と iPad で課題の配布・提出をする。
- ・xSync とノート PC で課題の配布・提出をする。
- ・iPad 内のアプリを使う (アプリ名:)
- ・iPad でネットワークのリソースに接続する
- ・その他:

(10) 可能であれば、どのような使い方をされるのか具体的にお教えてください。(アンケート)

(11) (あれば) 確認事項※なお、授業の相談などの事前相談は、2 週間前までにお願いします。

■貸出の流れ

(1) 教務課で ICT 機器保管庫の鍵を借りる

機器を使われる先生が教務課窓口で ICT 機器保管庫の鍵を借りてください。鍵の貸出簿に鍵番号と利用者氏名、貸出日時の記入をお願いします。

(2) 第一共通棟 2F の ICT 機器保管庫 (下図参照) に行き、予約した物品を受け取る

ICT 機器保管庫に行き、保管庫にある機器の貸出表に書かれた物品を受け取ってください。機器の貸出表に借りた時間の記入をお願いします。

注意事項

- ※ 保管庫の鍵は利用される先生が直接教務課に借りに行ってください。
- ※ 保管庫には他の利用者が借りる物品も置いてあります。ご自分が予約された物品かどうかを確認し、受け取ってください。
- ※ 受け取り後、保管庫の鍵を閉めてください。
- ※ 次の利用者がある場合がありますので、使用後は速やかにご返却ください。
- ※ 保管庫の鍵は当日返却する場合はそのままお持ち頂き、機器の返却後に教務課にご返却ください。ただし、機器の返却が翌日以降（予約時に了解済み）になる場合は、保管庫の鍵は一度教務課にご返却をお願いします。

第一共通棟 2F の物品保管庫（第一共通棟 2F）



(3) ICT 機器の運搬・利用

ICT 機器保管庫にあるキャリーなどを使用して授業の教室へ ICT 機器を運搬してください。

(4) ICT 機器の返却

使用後は ICT 保管庫へ物品を返却し、返却時間を機器の貸出表に記入してください。

(5) 教務課への物品保管庫の鍵の返却

教務課窓口へ行き、物品保管庫の鍵を返却してください。鍵の貸出簿に鍵番号と返却日時の記入をお願いします。

ロイロノート・スクールの利用方法

(1) ロイロノート・スクールご利用希望の場合は機器類の申込とは別にアカウントの申請が必要です。

愛知教育大学で利用できるロイロノート・スクールには学校が2つあります。

aichieduu → 先生アカウントは先生にのみ発行

aichiedu → 先生アカウントを先生にも学生にも発行

授業で使われる場合は、本来の授業で使われる場合も模擬授業で使われる場合も、担当の先生が一括して申請をお願いします。

本来の授業用 → aichieduu

模擬授業用 → aichiedu

先生および学生が、ロイロノート・スクールの動作確認や自習のために使われる場合は、個人で申請をお願いします。

動作確認・自習等用 → aichiedu

※詳しい使い方の説明やご質問・ご相談はALルームにて承ります。

- (2) アカウント申請方法 ご利用の1週間前までに、ロイロノート・スクール アカウント申し込み用テンプレートに従ってメールでALプロジェクト相談窓口(alpj-soudan@m. auecc. aichi-edu. ac. jp)まで依頼してください。

ロイロノート・スクール アカウント申込み用テンプレート

- 授業用（一括申請用）
 - (1)利用希望の学校（ご希望の学校を残す）：
aichieduu（本来の授業用） aichiedu（模擬授業用）
 - (2)利用期間： 月 日 ～ 月 日
 - (3)授業名：
 - (4)授業者（ご所属・お名前）：
 - (5)授業場所（どちらかを残す）： 学内 学外
 - (6)受講者数：
 - (7)aichiedu の場合のみ 必要な先生アカウント数：
 - (8)aichiedu の場合のみ 必要な生徒アカウント数：
 - (9)可能であれば、どのような使い方をされるのか具体的にお教えてください。（アンケート）
 - (10)その他、ご要望等
- 動作確認・自習用（個人申請用）
 - (1)氏名
 - (2)所属
 - (3)学籍番号（学生のみ）
 - (4)可能であれば、どのような使い方をされるのか具体的にお教えてください。（アンケート）
 - (5)その他、ご要望等

■相談窓口

ALプロジェクトのICT機器貸し出しに関する相談窓口は、alp-j-soudan@m. auecc. aichi-edu. ac. jp まで

ICT機器の貸出しについての詳細は、下記URLまたはQRコードにてご確認ください。

<http://www.alpj.aichi-edu.ac.jp/local/index.html>

（学内LANからのみアクセス可能）



ICT 機器貸出し利用実績

案件番号	授業時限数		貸出数		授 業 名
	iPad	まなボード	iPad (台)	まなボード (枚)	
2019-01		1		20	ASC 物理
2019-02		6		15	知覚・認知心理学
2019-03	2		45		一宮市教育委員会 小学生プログラミング教室
2019-04	9		15		初等情報教育
2019-05	20		30		企業体験活動
2019-06	3		18		技術科教育 C II
2019-07	1		5		会議
2019-08		4		10	情報教育入門
2019-09		8		15	情報教育入門
2019-10	8		35		知的障害者教育総論 A
2019-11	1		18		特別支援教育概論
2019-12	1		1		情報教育特論
2019-13	1		30		知的障害者の自立活動
2019-14	2		35		情報教育特論 (刈谷市立亀城小学校)
2019-15	4		55		教員免許状更新講習 ICT を活用した新しい学びの授業 づくり
2019-16		1		15	情報化教育 C2 (愛知県立幸田高校)
2019-17	1		60		発達障害事業勉強会
2019-18		1		15	学校情報研究 A (愛知県立幸田高校)
2019-19		1		5	E 選プログラミング教育の指導法
2019-20	4		55		教員免許状更新講習
2019-21					生活の指導と相談 A
2019-22	4		5		看護教諭のための看護学
2019-23	3		12		美術科教育 C4
2019-24			26		(キャンセル)
2019-25	1		2		授業研究
2019-26	1		3		発達障害事業勉強会
2019-27	2		20		ものづくりフェスタ ビスケット で遊ぼう！プログラミング教室

2019-28	16		15	コンピュータ利用教育
2019-29	9		25	情報と社会
2019-30				
2019-31	2		47	教育研究ゼミナールⅡ
2019-32	3		30	多気町教育委員会主催現職研修
2019-33		2	10	授業実践
2019-34	5		35	情報学研究Ⅲ
2019-35	1		2	情報学研究Ⅲ
2019-36				小学校プログラミング必須化に向けた研究会
2019-37	3		35	学外講習 新しい学びと小学校プログラミング
2019-38	1		1	「発達障害の可能性のある児童生徒等に対する教科指導法研究事業」 成果報告会
2019-39	1		2	情報学研究Ⅲ
2019-40	2		2	理科教育 A
2019-41				業務
2019-42	1		4	教科外活動の研究
2019-43	1		35	教科外活動の研究
2019-44	8		10	学習科学特論
2019-45				(キャンセル)
その他	1		60	全学 FD 集会 ロイロノート・スクールを使ったワークショップ
授業・貸出数 計	122	24	2667	305

貸し出し数の異なる回が含まれている場合は、最大数について記載しています。

申込み時と実際の貸出し数等が異なる場合は、実際の時限数、貸出し数を記載しています。

1回の授業が2時限以上連続のものについてもは記録のある範囲で実際の授業時限数に変更して計算しています。

貸出し数の合計は、回によって貸出し数が異なる場合などを含むため、授業回数×貸出し数の合計とはあっていません。

AL ルーム、小学校プログラミングに向けた簡易講習会での利用数は含まれていません。

AL ルーム, 小学校プログラミングに向けた簡易講習会 at AL ルーム活動報告

大学内の教職員, 学生に, ALPJ の活動を広く知ってもらい, ALPJ にて所有する ICT 機器類を有効活用してもらうため, AL ルームとして, iPad やまなボードなどを体験することを通して教員や学生が講義や模擬授業等で活用できるような機会を定期的に設けた。また, 来年度から始まる小学校プログラミングに向けた簡易講習会を AL ルームの開催時間と場所を利用して行った。

「AL ルーム」

■実施内容

実施期間 来場者数 :

前期授業期間中 (2019 年 5 月 23 日 (木) ~ 8 月 9 日 (金) 月曜 3 限, 木曜 2 限, + 臨時)
合計 25 回

来場者 (のべ人数) : 教員 4 名, 学生 (大学院生を含む) 23 名

夏休み期間中 (2019 年 8 月 19 日 (月) ~ 10 月 18 日 (金) 月曜 14:00-15:30, 木曜 10:00-11:30)
合計 15 回

来場者 : 0

後期授業期間中 (2019 年 10 月 24 日 (木) ~ 11 月 19 日 (火) , 1 月 7 日 (火) ~ 2 月 18 日 (火) 火曜 3 限, 金曜 3 限)

合計 18 回

来場者 (のべ人数) : 教員 1 名, 学生 (大学院生を含む) 5 名

全期間合計来場者数 (のべ人数) : 教員 5 名, 学生 (大学院生を含む) 28 名

場所 : ラーニングコモンズ I

AL ルームで試せるもの : iPad5~15 台, 教師機 (Surface) セット, AppleTV セット, iPad 用 USB メモリー, まなボード 5 枚, その他要望に応じてプロジェクター, 各種アダプター・ケーブルなど

■活動内容

- ・ロイロノートを使つての授業を行うための操作・機能の相談
- ・無線 LAN が使えない部屋でアクセスポイントを使うための相談
- ・アクセスポイントを使つて, iPad を無線 LAN につなげる接続試験
- ・模擬授業の準備
- ・ピョンキーを使う授業を行うための準備
- ・ビジュアルプログラミングに関する相談
- ・卒論のための調査方法に関する相談
- ・iPad と AppleTV とプロジェクターの接続試験
- ・模擬授業のための接続試験
- ・学外での講習会のための借用相談

「小学校プログラミングに向けた簡易講習会 at AL ルーム」

■実施内容

実施期間 来場者数 :

後期授業期間中 (11月21日(木)～12月24日(火) 火曜3限, 金曜3限)

合計 11回

来場者 (のべ人数) : 学生 (大学院生を含む) 44名

場所 : ラーニングコモンズ I

■活動内容

- ・ scratch や viscuit を利用し, 学生 ICT 支援員が主体となって講習会を実施 (講習時間は 60～90 分)
- ・ scratch 中心の回 : 6 回, viscuit 中心の回 : 4 回 (1 回は来場者なし)

学生 ICT 支援員 授業支援実績

■学生 ICT 支援員が授業支援を行った授業時限数

案件数 6 件

7月23日 1時限×2人

7月25日 1時限×3人

7月31日 1時限×5人

8月23日 4時限×5人 (19時限)

9月7日 2時限×1人

9月24日 1時限×3人

合計時限数 34 時限

■その他

小学校プログラミング簡易講習会 at AL ルーム

学生 ICT 支援員が講師を行った回数 9 回

講師として参加したのべ人数 21 人

メンテナンス作業・接続試験等

22 回 のべ 99 人